

令和7（2025）年度10月入学

千葉大学大学院

人文公共学府（博士後期課程）

学 生 募 集 要 項

入 学 者 選 抜
進 学 者 選 考

令和7年3月

人文公共学府 Web サイト <https://www.gshpa.chiba-u.jp/>
（人文公共学府に関する情報は、こちらの Web サイトから提供しております。）

千葉大学大学院人文公共学府入学者受入れの方針

1. 求める入学者

博士後期課程人文公共学専攻では、高い倫理性・公共性、高度な専門性、実践的研究能力を兼ね備えるための知識を身につけ、グローバルな知識基盤社会において活躍したい人を求めている。

2. 入学者選抜の基本方針

この入学者受入れの基本理念や目標に見合う学生を選抜するため、博士後期課程では、年間複数回、入学者選抜（進学者選考を含む）を行い、筆記試験（該当しない選抜区分もある）、書面審査、口述試験などを組み合わせ、志願者の能力や資質を総合的に評価する。

1. 専攻及び募集人員

専攻	コース	募集人員
人文公共学専攻	人文科学コース	若干名
	公共学コース	
	社会科学コース	
計		若干名

（注）募集人員は入学者選抜，進学者選考の合計です。

進学者とは本学大学院修士課程，博士前期課程又は専門職学位課程を令和7年9月修了見込みで引き続き博士後期課程に進む者をさします。

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- （1） 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和7年9月までに修士の学位又は専門職学位を取得見込みの者
- （2） 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年9月までに授与される見込みの者
- （3） 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年9月までに授与される見込みの者
- （4） 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年9月までに授与される見込みの者
- （5） 国際連合本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年9月までに授与される見込みの者
- （6） 次の各号の一に該当する者であって，その後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本学府において，当該研究の成果等により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

大学を卒業した者

外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における 16 年の課程を修了した者

- (7) 本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達したものと及び令和 7 年 9 月までに 24 歳に達するもの
- (8) 外国の学校、上記出願資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び令和 7 年 9 月までに認められる見込みの者で、本学府において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

3. 出願資格認定申請

出願資格の(6)、(7)、(8)により出願を希望する者は、事前に下記により出願資格認定申請を行ってください。

出願資格認定 申請受付期間 受付時間	令和 7 年 5 月 7 日(水)から 5 月 8 日(木)まで 窓口での受付は、9 時から 11 時 30 分まで、13 時 30 分から 16 時 30 分まで 郵送による場合はレターパックプラス又は簡易書留郵便とし、5 月 8 日(木)16 時までに必着とします。
提出書類	出願資格(6)又は(7)により出願を希望する者 ・入学試験出願資格認定申請書(別紙様式)* ・学歴調書(外国人志願者)(別紙様式)* ・最終出身学校の卒業証明書 ・最終出身学校の成績証明書 ・上記のほか後日書類の追加を求めています。 出願資格(8)により出願を希望する者 ・入学試験出願資格認定申請書(別紙様式)* ・博士論文基礎力審査に相当する審査の合格証明書 ・当該審査の合格の基準 ・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料 ・学歴調書(外国人志願者)(別紙様式)* ・博士前期に相当する課程の成績証明書 ・上記のほか後日書類の追加を求めています。
提出先	〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町 1 番 33 号 千葉大学 人社系学務課 大学院学務室(文学部棟 1 階) 電話: 043-290-2354
結果の通知	令和 7 年 5 月下旬にメール等により通知します。

*印の下記書類は千葉大学大学院人文公共学府 Web サイトからダウンロードできます。

入学試験出願資格認定申請書(両面印刷)

学歴調書(外国人志願者)

4. 出願手続

(1) 出願期間

令和7年6月11日(水)から6月12日(木)まで

窓口での受付は、9時から11時30分まで、13時30分から16時30分まで

郵送による場合は、6月12日(木)16時までに必着とします。

(2) 出願方法

出願書類等は一括して提出してください。

出願書類等を郵送する場合はレターパックプラス又は簡易書留郵便によることとし、封筒のおもてに「大学院人文公共学府(博士後期課程)入学願書」と朱書きしてください。

日本国外から出願する場合は、必ずあらかじめ人社系学務課大学院学務室(gah2352@office.chiba-u.jp)へメールで連絡の上、EMSで送付してください。事前の連絡がない場合は、出願書類を受理しないことがあります。

出願書類等提出先

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号

千葉大学 人社系学務課 大学院学務室(文学部棟1階)

電話: 043-290-2354

(3) 出願書類等

志願者は、次の書類等を提出してください。

出 願 書 類	注 意 事 項 等
入学願書又は進学願書・ 受験票・写真票	本学所定の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
履歴書	この要項に綴じ込んである所定の用紙に必要事項を記入してください。(外国人志願者も提出してください)
検定料 30,000円 進学志願者及び文部科学省国費外国人留学生は不要です。 1ページの1.専攻及び募集人員(注)参照	下記により、 必ず出願前に 、検定料を払い込んでください。 (1) 検定料払込期間: 令和7年5月12日(月)から6月12日(木)まで (2) 払込方法: 「E-支払いサービス」を利用し、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかにより払い込んでください。 払込手順等は、別紙「千葉大学 検定料払込方法」やE-支払いサービス Web サイトの「利用ガイド」を参照してください。 ご不明な点は、同サイトの「よくある質問」を確認の上、E-支払いサービスサポートセンターに問い合わせてください。 事務手数料は各自で負担してください。 (3) 払込後の手続: 収納証明書を入学願書の裏面(収納証明書貼り付け欄)に貼付し提出してください。収納証明書の取得方法は以下のとおりです。 ・コンビニエンスストア決済の場合→店舗で受け取ってください。 ・ペイジー、ネットバンキング、クレジットカード決済の場合→E-支払いサービス Web サイトの「申込内容照会」から印刷してください。

出 願 書 類	注 意 事 項 等
(検定料)	(4) 一旦納入された検定料は、原則返還しません。ただし、検定料を誤って振込み、出願しなかった者が、所定の返還手続を行った場合は返還します。返還手続の詳細は、人社系学務課大学院学務室に確認してください。なお、返還手続期限は令和7年9月30日となります。 ■ E-支払いサービス (https://e-shiharai.net/) インターネット上から、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードから希望の払込方法を選択の上、検定料の払込等ができるサービスです。 当サイトへの事前申込が必要です。 利用できる払込方法は大学により異なります。 ■ 海外から志願される方へ 日本国外在住の志願者についてはクレジットカードのみ利用できます。 クレジットカードでの払込後、E-支払いサービス Web サイトの「申込内容照会」から収納証明書を印刷し、入学願書の裏面(収納証明書貼り付け欄)に貼付してください。 英語版サイト (https://e-shiharai.net/ecard/) 外国人留学生向けの英語版サイトです。こちらはクレジットカード決済のみの案内となります。 決済後、印刷した「Result Page」を出願書類とともに提出してください。  
修了証明書又は 修了見込証明書	出身大学院(修士課程、博士前期課程又は専門職学位課程)の研究科長又は学長が作成したもの(日本語又は英語で作成されたものに限る)。 なお、外国の大学を修了した場合には、修士の学位に相当する学位を授与したことが明記された修了証明書を提出してください。 修了見込証明書を提出する者は、入学手続の際、「修了証明書」を提出してください。
成績証明書	出身大学院の研究科長又は学長が作成したもの。 (日本語・英語以外の場合には、日本語又は英語の訳を添付すること)
修士論文	■ 修士論文(又は修士論文に代わる論文)の写し: 3部 A4判,ワープロソフト可,日本語又は英語のみ可,論文題目及び氏名を記載した表紙を付けて仮綴じしてください。 ■ 上記修士論文の要旨: 6部 論文の要旨は次のように区分し、日本語で計8,000字以内あるいは英語で計2,500 words以内で作成し、提出してください。 この研究分野における志願者の研究の位置 主として用いた史資料、文献の概要 この論文において志願者が従来の研究にない、どのような新しい知見を加えたと思うか、また、どのような点が独創的だと思うか。 なお、この論文以外に業績がある場合には、5点以内の著書・学術論文等の該当部分(抜刷可)及び表紙の写しを各3部提出してください。 法科大学院出身者が社会科学コースを受験する場合には、判例評釈又は実務上の問題について分析した論文(いずれも20,000字以上)を「修士論文に代わる論文」としてもよい。

出 願 書 類	注 意 事 項 等
(修士論文) 修士論文等がない場合 研究経過報告書 * 研究業績調書 *	修士論文(又は修士論文に代わる論文)がない場合は,大学卒業後の教育機関・研究機関や地方自治体・企業等における調査研究等の経過や実績について記載した「研究経過報告書」及び「研究業績調書」(いずれも所定の様式)を各 6 部提出してください。 なお,上記「研究業績調書」に記載した業績のうち,主要なものの 5 点以内の著書・学術論文等の該当部分(抜刷可)及び表紙の写し,並びにその要旨を各 3 部提出してください。
研究計画書 *	所定の用紙に次のように区分し, 6 部提出してください。 修士論文(又は修士論文に代わる論文)で追究したテーマと今後の研究計画との関連について述べる。 研究計画の概要を,方法論の観点から述べる。 3 年間の研究計画を,研究の具体的方法(文献調査,史資料の収集と閲覧,聞き取り,フィールドワーク,海外での研究など)と時系列に即して述べる。 研究計画のどういう点が独創的で,かつ学問的に有意義だと思うか。
受験票等送付用封筒 (レターパックライト)	(日本国内で受信可能な)郵便番号,住所,氏名を明記したレターパックライトを準備し,同封してください。
合格通知書等受取先 住所シート	所定の用紙に(日本国内で受信可能な)郵便番号・住所・氏名を記入してください。
出願書類チェック リスト	この要項に綴じ込んである所定の用紙に必要な事項を記入してください。
社会人入学者は,上記出願書類等 ~ のほか下記の書類を提出してください。	
入学承諾書	合格後の入学手続時 に,勤務先所属長等が発行したもの。(入学手続の際に提出が困難な場合は,事前にご相談ください。)
外国人志願者は,上記出願書類等 ~ のほか下記の書類を提出してください。	
住民票の写し(原本) 又は在留カードの両面 写し	市区町村発行のもの(在留資格及び在留期間が記載されたもので個人番号(マイナンバー)の記載のないもの)又は在留カードの両面写し。 なお,住民登録していない者はパスポートの写し(本人の氏名,生年月日,性別,在留資格を表示する部分及び日本国査証の部分(もしあれば))を提出してください。
学歴調書 * (外国人志願者)	この要項に綴じ込んである所定の用紙に記入してください。
国費外国人留学生 証明書 (国費外国人留学生のみ)	国費外国人留学生であることの証明。

* 印の下記書類は千葉大学大学院人文公共学府 Web サイトからダウンロードできます。

研究経過報告書, 研究業績調書

研究計画書(両面印刷)

学歴調書(外国人志願者)

5. 入学者選抜・進学者選考

(1) 選抜・選考方法及び試験日程

選抜・選考は、書面審査及び口述試験の結果を総合して行います。

書 面 審 査	口述試験の日程	口述試験の内容
修士論文等及び「研究計画書」について審査します。	令和7年7月12日(土) 時間・場所については、受験票を送付する際に通知します。	修士論文等及び「研究計画書」を中心に行います。 研究分野により、外国語(日本語を含む)の運用能力を審査することがあります。

(注) 日程については、志願者と事前の調整をした上で変更となる可能性もあります。

(2) 試験会場

千葉大学西千葉地区 人文社会科学系総合研究棟 ほか

所在地：千葉市稲毛区弥生町1番33号

<道順>・JR総武線(各駅停車)西千葉駅下車、北口から徒歩約10分

・京成電鉄千葉線(各駅停車)みどり台駅下車、徒歩約10分

(3) 遠隔地在住者への特例

試験日に海外もしくは日本国内遠隔地に在住しており、来学が困難な志願者で指導を希望する人文公共学府教員が認める場合に限り、Zoomを使用したオンラインでの口述試験を実施いたします。なお、指導を希望する教員の事前面談が必要となります。(面談の照会は、8ページの「問い合わせ先」のメールアドレスをお願いします。)

6. 合格者発表

令和7年7月25日(金)13時以降に千葉大学大学院人文公共学府 Web サイト(<https://www.gshpa.chiba-u.jp/>)で行うとともに、合格者には、合格通知書及び関係書類を「合格通知書等受取先住所シール」に記載した住所(日本国内)宛に送付します。

なお、合否についての電話等での照会には一切応じません。

7. 入学者選抜・進学者選考に係る成績開示について

本試験に関する成績開示については、令和7年11月10日(月)から12月19日(金)までの間、受験者本人からの申し出により行います。

なお、その際には受験票が必要となりますので、大切に保管しておいてください。

8. その他の留意事項

(1) 出願書類等に不備があるときは受理しないことがあります。

(2) 場合によっては、追加書類の提出を求めることがあります。

(3) 出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合及び提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

(4) 出願書類及び検定料は返還しません。

ただし、検定料を誤って振り込み、出願しなかった者が令和7年9月30日(火)までに、所定の返還手続を行った場合は、検定料を返還します。返還手続の詳細については、人社系

学務課大学院学務室に確認してください。

- (5) 身体等に障害のある者で、受験上又は修学上、特別の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、あらかじめ事前相談の申請を行ってください。申請に基づき、本学関係者で検討します。

事前相談の締切日：令和7年5月8日(木)

提出書類： 事前相談申請書(用紙は人社系学務課大学院学務室に請求してください。)

障害の種類及び必要とする具体的な措置等を記載した医師の診断書

- (6) 受験票が試験日8日前になっても到着しない場合は、人社系学務課大学院学務室(電話：043-290-2354)にお問い合わせください。
- (7) 入学者選抜・進学者選考の過程で収集した個人情報が入学者選抜・進学者選考の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。
- (8) 受験のための宿泊施設の斡旋は行いません。

9. 入学・進学手続

- (1) 入学・進学手続日時

令和7年9月9日(火)まで

千葉大学では、「WEB入学手続システム」を導入しています。合格者の皆様の利便性を図るため、システムを利用いただくことで大学への来校を不要とし、入学料納入もクレジットカード決済やコンビニ支払いとします。

「WEB入学手続システム」や「入学手続」の詳細は千葉大学 Web サイトへ掲載し、合格者の皆様には合格通知書とともに手続き方法の案内を発送します。

- (2) 入学・進学時の必要経費

入学・進学手続の際には、次の経費が必要となりますので、あらかじめ用意しておいてください。

納入する主な経費

入学料 282,000円(学内進学者は不要)

- (注) 1. 授業料の納入については、入学後の前期分授業料は5月に、後期分授業料は10月に口座振替により納入願います。口座振替手続等についての詳細は入学手続の際に改めてお知らせします。

なお、前期分・後期分授業料はそれぞれ321,480円(年額642,960円)です。

(長期履修学生として承認された者は、3年分の授業料総額を承認された修業年限に応じて分割して納入することになります。)

また、入学して2年目から、後期分授業料は10月が口座振替の月となります。

2. 入学料及び授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。

3. 入学料及び授業料が免除される制度があります。

ただし、免除範囲に限度がありますので、必ず免除になるとは限りません。

詳細は、千葉大学 Web サイトをご覧ください。

(<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/exemption.html>)

4. 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。



学生教育研究災害傷害保険料 3,620円(3年分)(付帯賠償責任保険含む)
全員加入(納入方法は入学手続書類にてご案内します)
正課中,学校行事中,課外活動中,通学中における傷害事故に対して補償するものです。
また,他人にケガをさせたり,他人の財物を損壊した場合の補償も含まれます。
詳細は,千葉大学 Web サイト(https://www.chiba-u.ac.jp/for_school-life/support.html)
をご覧ください。
保険料の改定が行われた場合には,改定時から新保険料が適用されます。

(3) その他

西千葉地区に学生も利用できる保育園があります。ただし,利用者が定員を満たしていない場合に限り申込みができます。詳細は,学務部学生支援課にお問い合わせください。(電話:043-290-2178)

安全保障輸出管理について

千葉大学では,「外国為替及び外国貿易法」に基づき,「国立大学法人千葉大学安全保障輸出管理規程」を定め,学生の受入に際し,厳格な審査を実施しています。
規制事項に該当する場合は,希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので,ご注意ください。

10. 問い合わせ先

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号
千葉大学 人社系学務課 大学院学務室
電話:043-290-2354 F A X:043-290-2356
E-mail: gah2352@office.chiba-u.jp

人文公共学府（博士後期課程）の概要

1．本学府の理念

21世紀に入り、ますます加速するグローバル化の下で、逃れようもない不確実性を特徴とする世界情勢とともに、それに取り組むための時間があまり十分に用意されていない地球温暖化や環境問題といった課題も山積しています。民族と宗教は、人々を統合させる以上に対立や分裂を生み、戦争、テロが頻発し、難民が大量発生しています。国民国家や国民経済の枠組みが古くなったことは誰しも指摘しますが、それに代わるグローバルな枠組みを、覇権を持った国や国の連合体が提示できているとは思えません。科学技術の発展はIT革命をもたらし、われわれの生活や仕事は日々合理化を余儀なくされていますが、他方で、デジタル・デバイドが生み出す新たな問題領域は、テクノロジーのみに立脚して生きることがいかに困難を抱えるものであるのかを示しつつあります。テクノロジーが発展すればするほど、人がいかに生きるべきかを問う哲学がこれまで以上に重要な役割を果たさなければならないかのようです。

こうして、21世紀の新たな情勢の下で、人文科学や社会科学に新しい役割が余儀なく与えられつつあることに対応して、本学府は、博士前期課程と博士後期課程とを有機的に結合し、高度な教育研究環境を提供することになりました。

本学府は、人文科学（普遍的要素）と社会科学（汎用的要素）を融合させ、専門性と創造性を有し、新たな社会の課題を解決する「次世代型グローバル人材」を養成します。公共学的視点（学際性・国際性・実践性・社会性）を身に付ける教育カリキュラムにより、グローバルとローカルの社会的課題解決能力を涵養します。広い教養と専門性の深化に基づく課題発見力、グローバル社会及び地域社会との対話力・発信力、多様な課題を解決する実践力を育成します。

2．博士後期課程の目的と構成

高い倫理性・公共性、高度な専門性、実践的研究能力を兼ね備え、グローバルな知識基盤社会で活躍する人材を養成します。

博士前期課程において、幅広い教養と高度な専門分野の知識、課題探求能力及び解決能力を知的基盤として身に付けた者に対し、世界水準の専門性を涵養する講義・演習を行うとともに、「公共学的視点」を、より実践的な研究活動に向けて活かすための研究倫理、専門領域の情報・知識を他者と共有しながら指導的に協調・協働する力（協働力）、高度な研究開発プロジェクトを企画・管理する力（企画力・運営力）、成果を国際的・学際的に発信できる（国際的発信力）を涵養する体系的・組織的なカリキュラムを提供し、自ら研究課題を設定し、自立した研究活動を実践することで知識基盤社会を支える新たな知見や価値を創出する能力を身に付けます。

博士後期課程においては、既存の枠組みを超えた革新的な人文・社会科学系の教育研究分野の構築を目指し、その中で、それぞれの教育研究分野の特徴を見極めながら、世界に発信できる研究者や高度な職業人・市民を養成することを目指しています。

「博士」の学位に相応しい専門性・学際性の涵養を果たす教育課程を充実・強化し、より高い「公共学的視点」を備えた人材を養成していくため、1専攻3コース制の教育課程となります。

博士前期課程よりも高度な「公共学的視点」を身に付ける体系的・組織的なカリキュラムの充実によって、専攻の枠組みを超えた教育を実現しています。また、急速な現代社会の変化に対応し、研究課題の可能性や多様な方法論を修得していくためには、柔軟なコース制による教育課程となっています。

人文科学コースにおいては、人間の言語・文化活動の多面的な検討を行い、未来社会に向けた文化の継承と発展に寄与できる人材の養成を目指しています。

公共学コースは、歴史・文化・哲学・思想などの基礎的公共研究と環境・教育・福祉・平和といった実践的公共研究とを融合させながら、その文化的な背景をきちんと把握したうえで、公共的な諸問題を考え、解決に導こうとする、そのような人材を養成するところに眼目があります。

社会科学コースにおいては、法学・経済学・経営学など社会科学諸分野の研究者を養成するとともに、国際的専門職業人として活躍できる有能な人材の養成を目指しています。

3．専攻の名称，コース及び学位の名称

専攻	コース	授与する学位
人文公共学専攻	人文科学コース	博士（文学），博士（学術）
	公共学コース	博士（公共学），博士（学術）
	社会科学コース	博士（経済学），博士（法学），博士（学術）

4．コースと教育研究分野

科目の履修については、学生の研究課題、学位の種別、キャリアパス等に応じ、履修モデルを設定した「人文科学コース」「公共学コース」「社会科学コース」の3コースを置きます。

各コースの選択は志願時に行うが、入学後に提出する「研究計画書」に基づいて「論文指導科目」を担当する主指導教員1名・副指導教員2名で構成される「指導教員チーム」を組織します。1専攻コース制なので、人文科学・社会科学融合の学際的な指導体制の構築が果たされます。なお、過剰な科目履修を伴わないコース変更（指導教員の変更）は2年次進級時まで可能です。

(1) 「人文科学コース」は、人文科学に関わる基盤的専門分野に対応した高度な専門的知識を提供する科目を配置し、各自が選択した専門性に基づいて科目を選択します。

専門分野や対象を限定し、深く掘り下げた博士論文テーマであると評価された場合に「博士（文学）」を授与します。人文科学を幅広く学際的に履修し、相応の博士論文テーマであると評価された場合に「博士（学術）」を授与します。

(2) 「公共学コース」では、政治学・政策学・国際関係論分野の「公共性」にかかる科目を中心に配置し、「福祉」「環境」「地域」といった学際的問題について、グローバルかつローカルな視点から学ぶことを可能とします。

「公共学コース」で授与する学位は「博士（公共学）」を基本とし、公共学及び社会科学を幅広く学際的に履修し、相応の博士論文テーマであると評価された場合に、「博士（学術）」を授与します。

(3) 「社会科学コース」では、法学・経済学分野の高度な専門的知識を提供する科目を配置し、社会のさまざまな課題の本質を理解し新たな解決策を理論的に導く人材を養成します。

「社会科学コース」で授与する学位は「博士（法学）」ないし「博士（経済学）」を基本とし、法学ないし経済学及び社会科学を幅広く学際的に履修し、相応の博士論文テーマであると評価された場合に、「博士（学術）」を授与します。

5．履修方法

(1) 修業年限

ア．本学府博士後期課程の標準修業年限は3年です。

イ．特に優れた研究業績をあげた者は、3年未満で修了することもできます。（早期修了制度）

ウ．職業等に従事しながら履修を希望する者には、3年を超える修業年限が認められることがあります。（長期履修学生制度）

(2) カリキュラム

ア．各授業科目は、ターム制を導入しています。

イ．授業は、演習形式を中心とし、多様な授業を履修できるよう配慮されています。

ウ．本学府博士後期課程は、修士課程修了者、社会人、外国人留学生などの多様な入学者を受け入れているため、授業や研究指導の開講について弾力的な措置を考えることにしています。

エ．特に、本学府博士後期課程は、大学院生としての社会人の受講、研究の便宜のために、夜間、その他特定の時間又は時期において研究指導を行うことがあります。

オ．学生は、プロジェクト研究への積極的な参加を奨励されます。

(3) 修了に必要な単位

ア．本学府博士後期課程の修了に必要な単位数は16単位です。

イ．「共通基礎科目」1単位（必修）、「実践科目」4単位（選択必修）、「専門科目」4単位（選択必修）、「自由選択科目」2単位（自由選択）、「論文指導科目」5単位（必修）で構成します。

ウ．「論文指導科目」である「特別研究」「特別研究」「特別研究」は、在学中の学術論文作成などに対して与えられます。

エ．他大学院等との協定に基づき、4単位まで単位の互換を認めることがあります。

6．修了の要件

本学府博士後期課程に3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、学位論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。ただし、特に優れた研究業績をあげた者は、3年未満で修了することもできます。

7．長期履修学生制度について

(1) 長期履修学生制度とは

職業等の事情で、通常の学生よりも1年間又は1学期間に修得可能な単位数が限定される等の理由により、修業年限を超えた在学をしなければならないと、あらかじめ大学が認めた上で在学し、修了により学位を取得させることのできる制度です。

長期履修学生と認められた者は、通常の修業年限において支払う授業料の総額を、あらかじめ認められた修業年限を超えた年数（学期）で除した額をそれぞれの年（学期）に支払うこととなります。

(2) 長期履修学生制度の対象

職業等に従事することにより学修時間に制約を抱え1年間又は1学期間に修得可能な単位数等が限定される者。

申請方法等は、合格通知とともにお知らせします。

大学院人文公共学府（博士後期課程）研究指導担当教員

令和7年4月現在
(予定)

担当教員は、変更になる場合があります。

最新の情報は，人文公共学府Webサイト（ <https://www.gshpa.chiba-u.jp/> ）をご確認ください。

印は令和 8 年 3 月退職予定者、 印は令和 9 年 3 月退職予定者、 □は令和 1 0 年 3 月退職予定者を示します。

人文公共学専攻

コース	教育研究分野	指導教員名				担当授業科目名
人 文 科 学	行 動 科 学	教 授	和 泉 ち え	ヨーロッパ古典文献学		
			内 山 直 樹	東洋哲学		
			小 谷 真 吾	環境人類学		
			清 水 洋 行	地域変動論		
			高 橋 絵里香	医療人類学		
			出 口 泰 靖	福祉社会論		
			山 田 圭 一	現代哲学		
		准 教 授	米 村 千 代	家族変動論		
			秋 葉 剛 史	分析哲学		
			小 林 聡 子	言語人類学		
			佐々木 綾 子	国際ソーシャルワーク論		
			白 川 優 治	教育システムの社会学		
			立 花 幸 司	倫理学		
			福 田 友 子	越境の社会学		
	歴 史 学	教 授	ガイタニディス, ヤニス	現代宗教論		
			吉 岡 洋 介	経験社会学		
			阿 部 昭 典	先史考古学		
			岩 城 高 広	東南アジア歴史社会論		
			大 峰 真 理	ヨーロッパ近世社会論		
			神 里 達 博	科学技術と社会		
日 本 ・ ユーラシア文化	教 授	○ 栗 田 禎 子	イスラーム歴史社会論			
		見 城 悌 治	東アジア比較社会論			
		山 田 俊 輔	考古学			
		和 田 健	民俗資料論			
		磯 貝 真 澄	イスラーム歴史社会論			
		伊 東 久 智	日本近現代史			
	准 教 授	崎 山 直 樹	ヨーロッパ近現代社会論			
		檜 皮 瑞 樹	日本歴史社会論			
		川 合 真木子	西洋美術史			
		ピオンティーノ ユリアン	東アジア比較社会論			
国 際 言 語 文 化 学	教 授	兼 岡 理 恵	日本文学表現論			
		兒 玉 香菜子	ユーラシア民族論			
		柴 佳世乃	日本文学資料論			
		○ 田 口 善 久	ユーラシア言語論			
		竹 内 比呂也	日本文学資料論			
		久 保 勇	日本文学享受論			
	准 教 授	小 林 洋 介	日本文学表現論			
		田草川 みずき	日本芸能文化論			
		鈴 木 彩 香	日本語学			
		周 飛 帆	移民と教育の現代社会論			
		□ 鎌 田 浩 二	理論言語学			
		館 美貴子	英語圏文化論			
		レイメンド アンドリュー	英語圏文化論			
		山 本 裕 子	英語圏文化論			
	准 教 授	○ 吉 野 文	日本語教育論			
		大 森 雅 子	比較文化論			
高 民 定		言語行動分析論				
橋 本 知 子		比較文化論				
西 住 奏 子		異文化間語用論				

人文公共学専攻

コース	教育研究分野	指導教員名		担当授業科目名
公 共 学	公 共 学	教	五十嵐 誠 一	国際関係論
			石 戸 光	国際経済論
			伊 藤 恵 子	国際経済論
			□ 大 石 亜希子	雇用政策論
			小 川 玲 子	移民研究
		授	佐 藤 健太郎	日本政治史
			倉 阪 秀 史	環境経済論
			小 林 正 弥	公共哲学
			関 谷 昇	政治思想史
			高 光 佳 絵	アメリカ外交史
			□ 戸 田 善 治	市民社会論
			羽 間 京 子	司法福祉論
			藤 川 大 祐	メディアリテラシー論
			水 島 治 郎	公共政治論
			三 宅 芳 夫	社会思想史
		准教授	小 川 哲 生	公共政策論
			李 想	国際政策論
社 会 科 学	経 済 学	教	青 山 耕 治	計量経済学
			荻 山 正 浩	近代日本社会経済史
			佐 藤 栄 作	マーケティング・サイエンス特論
			清 水 馨	経営学特論
		授	橘 永 久	開発経済学
			長根（齋藤）裕美	ミクロ経済学
			新 関 剛 史	マクロ経済学
			小 川 真 実	企業会計
		准教授	大 鋸 崇	計量経済学
			小 野 理 恵	ミクロ経済学
			金 子 文 洋	選択行動分析
	法 学	教授	川 瀬 貴 之	法哲学
			下 井 康 史	行政法
			皆 川 宏 之	労働法

令和7年度10月入学千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）
入 学 願 書

印欄は記入しないでください。

ふりがな				受験番号	
氏 名					
生 年 月 日		性別	国籍（外国人志願者のみ記入）		
(西暦) 年 月 日生 (満 歳)		男 ・ 女			
志望コース等	コ ー ス		教 育 研 究 分 野		
指導を希望する教員	第一希望 第二希望 (注)指導教員の第一希望教員名は必ず記入してください。第二希望教員名は必ずしも記入する必要はありません。 なお、第一希望、第二希望の教員は志望する教育研究分野から選択してください。 指導教員欄への記載は、入学後の指導教員を確定するものではありません。				
現住所等	〒 (自宅電話) (携帯電話) (E-mail)				
出身大学等	【学士】 年 月 卒業 大学 学部 学科				
	【修士】 年 月 修了・修了見込 大学大学院 研究科 修士・博士前期・専門職学位 課程 専攻【国立・公立・私立・日本国外・その他】				
修士論文等の 題目					
国費外国人留学生		☐ (該当する場合にはチェックを入れる)			
長期履修学生制度の希望（社会人のみ）		有 無 (どちらかに。)			

(注1) 性別欄，出身大学等欄，長期履修学生制度の希望欄は該当項目に○をつけてください。

(注2) 氏名，生年月日，性別，国籍の記載欄は戸籍記載事項（又は在留カード記載事項）を記入してください。

令和7年度10月入学
千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）
受 験 票

受験番号		
ふりがな		
氏 名		
志望する専攻名等		写真貼付欄 縦 4 cm 横 3 cm 上半身、正面 無帽で出願前 3 カ月以内のもの
専 攻		
コ ー ス		
教育研究分野		
備 考		

令和7年度10月入学
千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）
写 真 票

受験番号	
ふりがな	
氏 名	
写真貼付欄 縦 4 cm 横 3 cm 上半身、正面 無帽で出願前 3 カ月以内のもの	

収納証明書貼り付け欄

○はがれないようにしっかりと糊付けしてください。

**令和7年度10月入学千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）
進 学 願 書【千葉大学からの進学者用】**

印欄は記入しないでください。

ふりがな				受験番号			
氏 名							
生 年 月 日			性別	国籍（外国人志願者のみ記入）			
(西暦) 年 月 日生 (満 歳)			男 ・ 女				
志望コース等	コ ー ス			教 育 研 究 分 野			
指導を希望する教員	第一希望 第二希望 (注)指導教員の第一希望教員名は必ず記入してください。第二希望教員名は必ずしも記入する必要はありません。 なお、第一希望、第二希望の教員は志望する教育研究分野から選択してください。 指導教員欄への記載は、入学後の指導教員を確定するものではありません。						
現住所等	〒 (自宅電話) (E-mail) (携帯電話)						
出身大学等	【学士】 年 月 卒業 大学 学部 学科						
	【修士】 年 月 修了見込 研究科 千葉大学大学院 学 府 修士・博士前期・専門職学位 課程 (学位プログラムまたは専攻名)						
修士論文等の題目							
国費外国人留学生			☐ (該当する場合にはチェックを入れる)				
長期履修学生制度の希望（社会人のみ）			有 無 (どちらかに○)				

(注1) 性別欄、出身大学等欄、長期履修学生制度の希望欄は該当項目に○をつけてください。

(注2) 氏名、生年月日、性別、国籍の記載欄は戸籍記載事項（又は在留カード記載事項）を記入してください。

令和7年度10月入学

千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）
受 験 票（進学者選考）

受験番号				
ふりがな				
氏 名				
志望する専攻名等		写真貼付欄 縦 4 cm 横 3 cm 上半身、正面 無帽で出願前 3 カ月以内のもの		
専 攻				
コ ー ス				
教育研究分野				
備 考				

令和7年度10月入学

千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）
写 真 票（進学者選考）

受験番号			
ふりがな			
氏 名			
写真貼付欄 縦 4 cm 横 3 cm 上半身、正面 無帽で出願前 3 カ月以内のもの			

印欄は記入しないでください。

受験番号	
------	--

履 歴 書（令和7年度10月入学）

千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）

氏 名 _____

	年 月 日	事 項
学 歴	年 月 日	高等学校卒業
	年 月 日	入学
	年 月 日	卒業
	年 月 日	入学
	年 月 日	修了・修了見込
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
職 歴	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
賞 罰	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	

（注）1．学歴は高等学校卒業から記入し，履歴事項は漏れなく記載してください。
2．外国語で記入する場合，または記載欄が不足する場合は本様式に沿ってA4判の用紙を使用し，入学願書に添付してください。

印欄は記入しないでください。

受験番号	
------	--

研究経過報告書（令和7年度10月入学）

千葉大学大学院人文公共学府(博士後期課程)

氏 名 _____

（注）修士論文（または修士論文に代わる論文）がない場合は，本様式に大学卒業後の調査研究について記入し，**6部**提出してください。

印欄は記入しないでください。

受験番号

研究業績調書（令和7年度10月入学）

千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）

氏 名 _____

著書・学术论文等の名称	発行または 発表年月日	発行所・発表雑誌等または発表 学会等の名称	共著者名または 共同発表者名

- （注）1．修士論文（または修士論文に代わる論文）がない場合は，この様式を **6部** 提出してください。
- 2．著書・学术论文等は，主要なもの5点以内の該当部分（抜刷可）及び表紙の写し，並びにその要旨を **各3部** 提出してください。
- 3．共著の場合は，その相当部分を明記してください。

印欄は記入しないでください。

受験番号

研究計画書（令和7年度10月入学）

千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）

氏 名 _____

研究題目

研究計画

（注）人文公共学府 Web サイトから本様式をダウンロードする場合は，両面印刷にすること。

うら面に続く

研究計画（つづき）

受験番号	
------	--

入学承諾書（令和7年度10月入学）

所 属 _____

職 名 _____

氏 名 _____

上記の者が、千葉大学大学院人文公共学府（博士後期課程）人文公共学専攻に入学することを承諾します。

令和 年 月 日

勤務先所属等の長又は代表者

住 所

所属機関

役職名

氏 名

- （注）1．合格後の入学手続時に提出してください。（社会人入学者のみ）
2．受験番号欄に受験番号を記入してください。

学 歴 調 書 (外国人志願者)
Curriculum Vitae for foreign applicants Foreign Applicants

(令和 7 年度)

氏名	自国語	Family Name First Name Middle Name		男 (M) ・ 女 (F) (sex)	生年月日 Date of Birth	年齢 Age	国籍 Nationality	在留資格 Resident Status	
	カタカナ								
	ローマ字	Family Name First Name Middle Name							
学校名、所在地 Name and Address of School					正規の修学年数 Officially Required Number of Years of Schooling	入学及び卒業年月 Year and Month of Entrance and Graduation	修業年数 Period of Schooling	専攻科目 Major Subject if any	学位・資格 Diploma or Degree Awarded
初等教育 Elementary Education 小学校 Elementary School		学校名 Name 所在地 Location			年 yrs	入学 from 卒業 to	年 yrs		
中等教育 Secondary Education 中学及び高校 Secondary School	中学 Lower	学校名 Name 所在地 Location			年 yrs	入学 from 卒業 to	年 yrs		
	高校 Upper	学校名 Name 所在地 Location			年 yrs	入学 from 卒業 to	年 yrs		
高等教育 Higher Education 大学 Undergraduate Level 大学院 Graduate Level	学校名 Name 所在地 Location			年 yrs	入学 from 卒業 to	年 yrs			
	学校名 Name 所在地 Location			年 yrs	入学 from 卒業 to	年 yrs			
以上を通算した全学校教育修学年数 TOTAL					年 yrs	TOTAL	年 yrs		

研究歴 Research Activities	研究機関名 Name of Research Institution	所在地 Address	身分 Status	研究期間 Duration of Research ~	年数 yrs
職歴 Employment Record	勤務先名 Name of Organization	所在地 Address	身分 Status	勤務期間 Period of Employment ~	年数 yrs
日本語の学習歴 Japanese Language Education	教育機関名 Name of Educational Institution	所在地 Address	身分 Status	履修期間 Period of Study ~	年数 yrs

記入は、日本語又はローマ字体を用いること。(Please type or print in Japanese or English)

合格通知書等受取先住所シート

〒 -	
住所 _____ _____	
様	
受験番号	

〒 -	
住所 _____ _____	
様	
受験番号	

〒 -	
住所 _____ _____	
様	
受験番号	

(注) 合格通知等を受け取る際の志願者の郵便番号、住所(日本国内)、氏名を記入してください。

黒の枠線からはみ出さないように記入してください。

出願後、住所を変更したときは、すみやかにお届けください。

印欄は記入しないでください。